

「減らそう犯罪」第5期ひろしまアクション・プラン の推進状況について（令和5年上半期）

1 要旨・目的

「減らそう犯罪」第5期ひろしまアクション・プランの推進状況（令和5年上半期）について報告するもの

2 現状・背景

【第5期アクション・プラン（令和3年～令和7年）の運動目標及び重点項目】

○ 運動目標

住む人 来る人 誰もが日本一の安全安心を実感できる広島県の実現

○ 重点項目

- ・ 不安に感じる犯罪の抑止
- ・ 子供・女性・高齢者等の安全確保
- ・ 特殊詐欺被害の抑止
- ・ インターネット利用犯罪被害の防止

3 概要

(1) 調査対象

—

(2) 調査期間

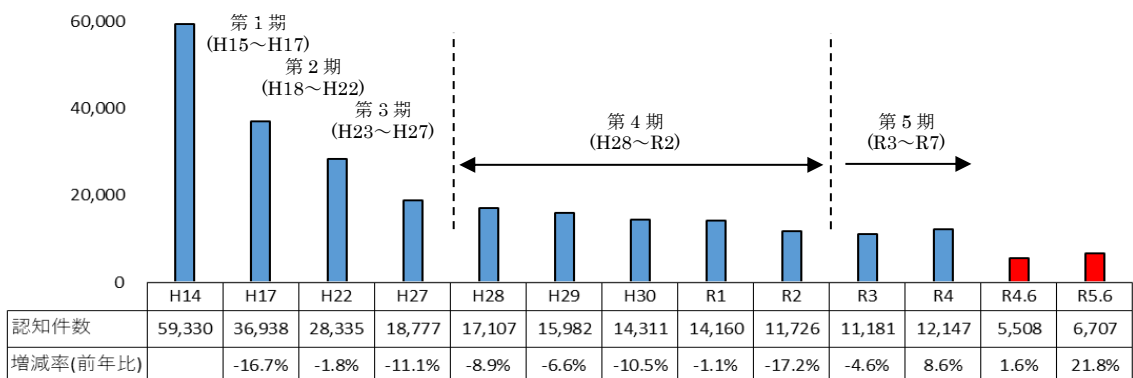
令和5年上半期（1月～6月）

(3) 調査結果

ア 運動目標の推進指標（R5:暫定値）

(ア) 刑法犯認知件数【指標:12,000件以下】

6,707件(前年比+1,199件、+21.8%)



減少犯罪 ①万引き(-52件) ②暴行(-38件) ③色情ねらい(-16件)
増加犯罪 ①自転車盗(+508件) ②詐欺(+309件) ③部品ねらい(+103件)

(イ) 治安良好と感じる県民の割合【推進指標:90%以上】

	H29	R2	前回比
治安良好と感じる人の割合	85.3%	86.9%	+1.6ポイント

イ 重点項目の取組指標 (R5:暫定値)

(ア) 不安に感じる犯罪 (8罪種) の認知件数【取組指標:5,500件以下】

	R1.6	R2.6	R3.6	R4.6	R5.6
認知件数	3,282件	2,649件	2,162件	2,316件	3,006件
増減率(前年比)	3.4%	-19.3%	-18.4%	7.1%	29.8%

- 侵入強盗以外の7罪種が増加し、中でも自転車盗(+508件)が急増
 ※不安に感じる犯罪～自転車盗、車上ねらい、器物損壊等、侵入強盗、侵入窃盗、住居侵入、強制性交等、強制わいせつの8罪種

(イ) 子供・女性・高齢者が被害者となる犯罪の認知件数【取組指標:4,800件以下】

	R1.6	R2.6	R3.6	R4.6	R5.6
認知件数	2,835件	2,342件	2,060件	2,199件	2,863件
増減率(前年比)	-1.2%	-17.4%	-12.0%	6.7%	30.2%

- 子供、女性、高齢者とも増加し、主に子供は自転車盗(+276件)、女性、高齢者とも詐欺(女性+86件、高齢者+75件)が増加

(ウ) 特殊詐欺の年間被害総額【取組指標:2億円以下】

a 特殊詐欺の認知状況

	R1.6	R2.6	R3.6	R4.6	R5.6
認知件数	87件	77件	97件	101件	158件(前年比+56.4%)
被害総額	約1億2,510万円	約1億748万円	約1億6,344万円	約4億2,372万円	約5億1,084万円(前年比+20.6%)

※被害額の多い上位3手口

- ①架空料金請求詐欺(65件 約3億2,868万円) ②オレオレ詐欺(18件 約5,952万円)
 ③還付金詐欺(37件 約4,821万円)

b 特殊詐欺の水際阻止状況

	R1.6	R2.6	R3.6	R4.6	R5.6
阻止件数	74件	93件	172件	242件	335件(前年比+38.4%)
阻止額	約7,942万円	約3,466万円	約1億1,644万円	約4,518万円	約7,019万円(前年比+55.4%)

(エ) フィルタリング(スマートフォン)の使用率【取組指標:37%以上】

令和4年度 30.2%

※当県における「子ども・若者育成支援推進法に基づく対応方針」で定めている指標を引用

(4) 今後の対応

ア 特殊詐欺被害の抑止

- 多様な主体による特殊詐欺被害の抑止対策の推進

イ 子供・女性・高齢者等の安全確保

- 事業者による「ながら見守り」の推進など防犯CSR活動の促進
 ○ 地域ぐるみで子供・女性・高齢者等を犯罪から守る環境の構築と取組の強化

ウ 不安に感じる犯罪の抑止

- 自転車盗などの不安に感じる犯罪に関する効果的な情報発信
 ○ ガイドラインに基づく防犯カメラの設置促進

エ インターネット利用犯罪被害の防止

- サイバー犯罪への抵抗力の強化
 ○ スマートフォン等のフィルタリングの利用促進